

営団・東京メトロ
1次量産車・B修繕後

6000系

CHIYODA
STORY

④

<塗装済みサンプル撮影>

帯の印刷が済んだサンプルです。金色に輝くサッシがアクセントになっています。



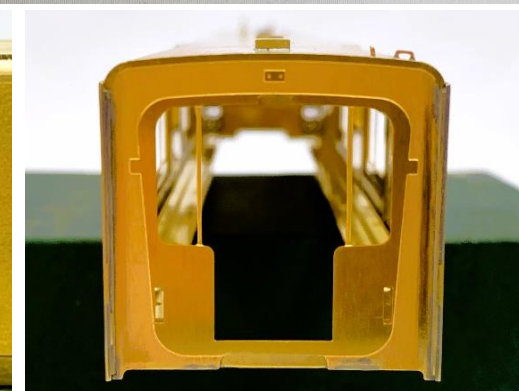
営団・東京メトロ
1次量産車・B修繕後

6000系

CHIYODA
STORY

③

<組立サンプル撮影> 前面手すりを別パーツ化。2段サッシや車側灯、アンチクライマー等は塗装後に取り付けます。



<車端部繋箱>

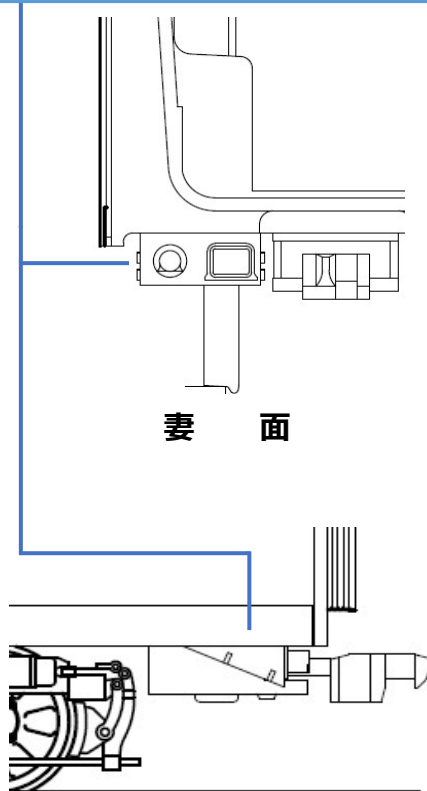
ジャンパホースを繋ぐ機器箱を床下に再現。
妻面側には接続口の形状を表現。
※全車に同じ部品を流用します。

<FS378台車を再現>

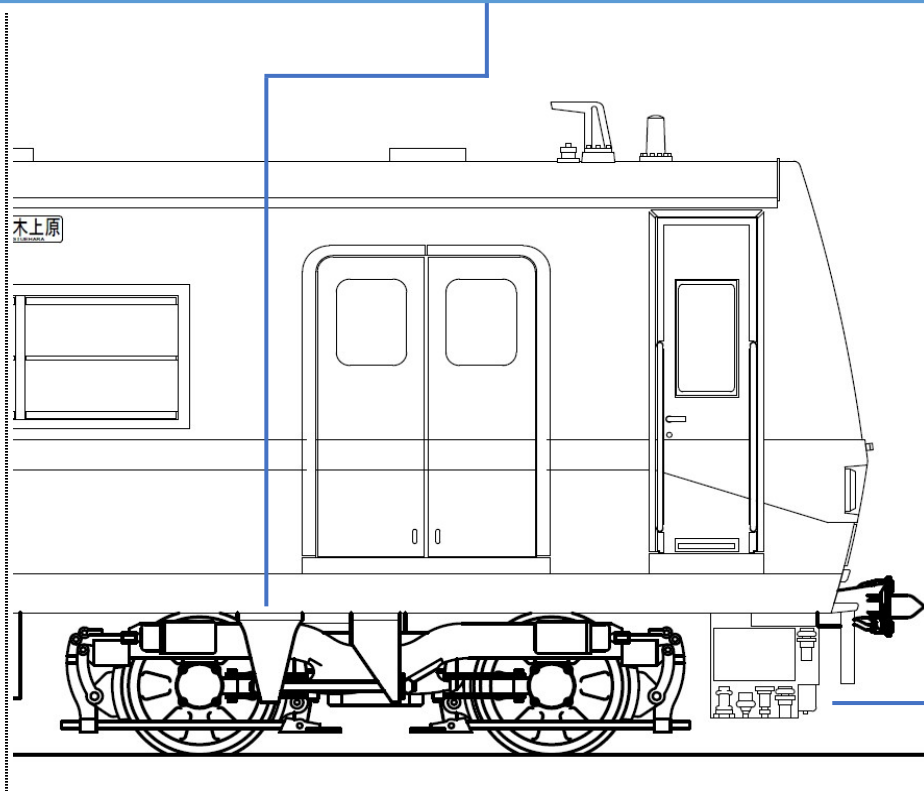
台車はFS383を基本にアンカーを新規製作。
また、乗務員室下にはブレーキ相互制御装置を
新規製作により再現。

<初期型の前面>

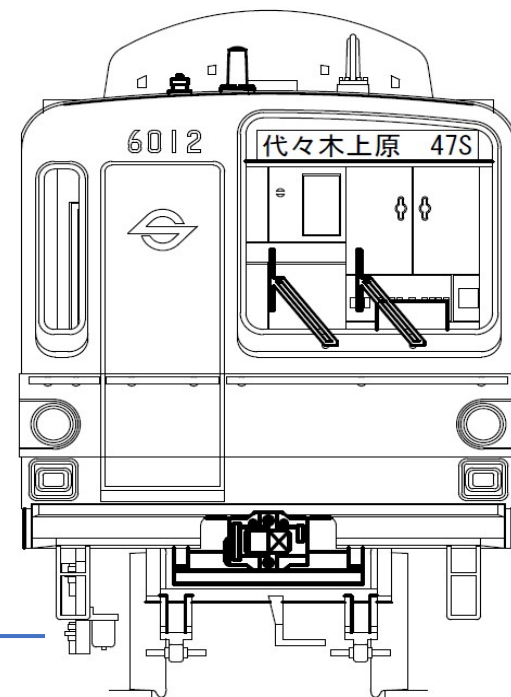
後期型とは異なる車体断面を再現。
手摺はエッチングパーツを新規製作。
アンチクライマーを別パーツで製作。
ボディとの色調の違いも再現。



側面



側面



前面

営団・東京メトロ
1次量産車・B修繕後

6000系

CHIYODA
STORY

①

<ベンチレーター撤去跡>

B修繕の際に撤去されたベンチレーターの跡。
今回の製品では場所により高さの違いを再現。
厚みのある箇所は鋳造品を使用し立体的に、
低い箇所では車体側にエッチングを施し再現。

<集中型クーラー>

新設された冷房装置。
製品では真鍮プレスと鋳造品を組み合わせ再現。
プレス箇所はエッチング模様でメッシュを表現。
近年の現行製品と同水準の細密感を実現。

<パンタグラフ撤去跡>

修繕時に一部の部品が残された。
製品では特徴的な配管やフューズ箱、
取付台や碍子などの残置物を再現。
ランボードは脚の付いた「下駄式」を
プレス加工品で立体的に表現。

